

令和2年度事業報告

I 庶務に関する事項

1 会員及び役職員の状況

(1) 会員

(単位：団体、人)

区分	年度当初	加入	退会	年度末	備考
正会員	93		2	91	
準会員	4			4	
合計	97			95	

(2) 役員

(単位：人)

区分	会長	副会長	専務理事	常務理事	理事	監事
人数	1	2	1	1	9	2

(3) 職員

(単位：人)

区分	正職員	嘱託職員	臨時職員
人数	8	1	1

2 総会の開催状況

(1) 第65回通常総会

ア 期 日 令和2年6月5日

イ 場 所 深谷市 埼玉県農林公園

ウ 議 事

第1号議案 令和元年度事業報告、収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 令和2年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第3号議案 令和2年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第4号議案 令和2年度役員報酬額の承認について

第5号議案～20号議案 任期満了に伴う役員を選任について

付帯決議

(2) 臨時総会

ア 期 日 令和2年8月6日

イ 場 所 熊谷市 ホテルヘリテージ

ウ 議 事

第1号議案～第6号議案 役員の新選任について

3 役員会（理事会）等の開催状況

(1) 役員会（理事会）及び監査会

区分	期 日	場 所	会議の内容
監査会	令和2年5月7日	書面議決	令和元年度事業報告について 収支計算書、財産目録について 公益目的支出計画実施報告書について

役員会 (第1回理事会)	令和2年5月18日	書面議決	第65回通常総会に提出する議案について 新規職員の募集について 業務執行状況報告について
役員会 (第2回理事会)	令和2年6月5日	深谷市 埼玉県農林公園	会長・副会長・専務理事・常務理事の選定について
役員会 (第3回理事会)	令和2年7月15日	書面議決	臨時総会提出議案について 令和2年度新規事業について 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務の再委託先の追加承認について
役員会 (第4回理事会)	令和2年8月6日	熊谷市 ホテルヘリテイジ	会長・副会長・専務理事の選定について
役員会 (第5回理事会)	令和3年3月10日	書面議決	令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 貸金規程の一部改正の承認について 就業規則の一部改正の承認について 庶務規程の一部改正の承認について 会計処理規程の一部改正の承認について 情報公開規程の制定の承認について 業務執行状況報告について

(2) 定例会議

常勤役員及び職員による定例会議を毎月開催し、業務の円滑な推進に努めた。

4 研修会への参加状況

研修会名	研修内容	期日	場所	人数
中央畜産会技術研修会	新任基礎研修及び経営指導従事者研修(コンサル基礎)	令和3年1月20日	リモート会議	2名
中央畜産会管理者研修会	次期管理者向け基礎研修	令和2年10月25日	リモート会議	3名
〃 (2回目)	現在の就職活動時期と学生の就職支援について	令和3年1月25日	リモート会議	3名
全国肉用牛振興基金協会業務研修会	肉用子牛経理処理研修について	令和3年3月2日	リモート会議	1名

II 業務に関する事項

1 生産技術向上対策に関する事業

(1) 畜産振興補助事業(地方競馬全国協会)

畜産経営技術指導等を推進するため、次の事業を実施した。

- ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業
- イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資する事業
- ウ 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

(2) 畜産経営技術指導事業(埼玉県)

畜産経営に関する生産技術や財務管理などの支援に努めた。

- ア コンサルタント団の設置
 - (ア) 総括畜産コンサルタント 2名

(イ) 畜産コンサルタント 4名

イ 個別支援

- (ア) 経営診断に基づく改善方法等の助言
- (イ) 財務諸表の作成、分析、及び生産技術の助言
- (ウ) 助言内容の定着を図るための巡回助言

経営診断指導実績

指導内容	実 績					備考
	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	合計	
経営診断に基づく改善指導	2	2	1	0	5	
経営管理技術指導	15	2	0	0	17	
生産技術指導	21	2	0	0	23	
フォローアップ指導	2	2	1	0	5	
合 計	40	8	2	0	50	

ウ 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業推進

雌雄判別精液の活用助言 512本

エ 家畜改良支援

(ア) 牛群検定、後代検定支援 20件

(イ) 乳用牛、肉用牛改良支援

オ 畜産経営関係情報の提供

県内の畜産物直売所などの情報を「2021 畜産ガイド 埼玉版」として作成した。

(ア) 牛肉 5件 (イ) 牛乳 5件 (ウ) 豚肉 11件

(エ) 卵 9件 (オ) 鶏肉 1件 (エ) はちみつ 3件

(3) 経営革新指導事業 (埼玉県)

畜産クラスター事業(畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業)の効果的な推進を図るため、クラスター協議会の指導及び本事業で導入した機械装置等の利用状況の確認などを通じ、畜産経営体の経営向上を支援した。

ア 畜産クラスター事業の推進 2件

イ 畜産クラスター協議会の指導 93件

ウ 導入した施設等の運営管理・利用状況及び事業効果の把握等 30件

(4) 繁殖雌牛ゲノム情報収集事業 (埼玉県)

県内の肉用牛農家が飼育する黒毛和種繁殖雌牛のゲノム情報を収集し、ゲノミック評価の活用方法を確立し、和牛子牛の資質向上による農家の収益力強化に努めた。

ア 調査頭数 265頭

(5) 高糖度飼料用稲実証展示事業 (埼玉県・新規)

飼料用稲の作付け及び利用拡大による飼料自給率の向上を図るため、水田や既存技術が活用できる高糖度飼料用稲の実証展示や外部機関に依頼し飼料分析を行ったほか、本会広報誌により事業PRを県内畜産農家へ周知した。

ア 展示ほ場数 4件

イ 作物の種類 つきすずか・つきあやか

(6) 畜産団体運営費補助事業 (埼玉県)

県の畜産振興に関する方針に基づき、畜産経営技術の向上、家畜登録、家畜改良増殖の普及に努め、家畜衛生指導、経営環境保全整備のための指導等行政の補完的役割を果たし会員及び関係機関と連帯し、会務の円滑な運営に努めた。

(7) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構）

肉用牛経営を安定させるため、繁殖雌牛の増頭に資する取組を行い、また地域の肉用牛生産基盤の強化に努めた肉用牛経営に対し、増頭実績に応じて補助金を交付した。

ア 対象戸数 3戸
イ 対象頭数 12頭
ウ 補助金額 1,140,000円

(8) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構・新規）

肉用牛経営体等が災害等による停電時に備え、経営体の飼養する家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるため、非常用電源の整備を行った肉用牛経営体に対し補助金を交付した。

ア 対象経営体 1件
イ 補助金額 472,500円

(9) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）

県内の畜産クラスター協議会の窓口団体として、構成員が要望する機械装置の導入に関し、一連の手続きなどを支援した。

ア 導入機械装置数 4件 4取組主体
イ 対象協議会数 3協議会

(10) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（全国推進事業）（中央畜産会）

畜産経営の経営実態把握のための動向調査を実施した。

ア 酪農経営実態動向調査数 2戸

(11) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会）

酪農・肉用牛農家における労働負担軽減・ICT化に係る飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入を希望する農家への支援・普及推進を行った。

ア 自動給餌機 1戸
イ 哺乳ロボット 1戸

(12) 酪農労働力省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 GO 事業）（中央畜産会）

酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入及び一体的な施設整備を支援した。

ア 哺乳ロボット及び牛舎整備 1戸

(13) 畜産現場における障がい者雇用促進支援事業（中央畜産会）

畜産業における新たな労働力の創出と畜産現場における障がい者の参画を促進するため、支援学校の関係者を対象に現場見学会などを開催した。

ア 特別支援学校生徒の牧場実習

(ア) 令和2年6月29日～7月10日 児玉郡上里町 肉用牛法人 1名参加
(イ) 令和3年2月12日 秩父郡小鹿野町 肉用牛経営者 5名参加

(14) 生産基盤拡大加速化事業（全国肉用牛振興基金協会・新規）

牛肉の国内需要の増加と輸出拡大に対応するため、生産者が畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金を交付する事務手続きなどを支援した。

ア 対象農場数 27農場
イ 対象頭数 97頭
ウ 奨励金額 22,045,000円

} (埼玉県肉用牛経営クラスター協議会)

(15) 乳用種雄牛後代検定事業（家畜改良事業団）

家畜改良事業団が乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価を実施するために必要な、サンプルの収集を行った。

ア サンプル収集頭数 8 頭

(16) 畜産環境整備リース事業（畜産環境整備機構）

畜産経営に起因する環境汚染等を防止するとともに、環境保全技術の進歩に合わせて、飼養環境の整備を進めるため、家畜ふん尿処理等に必要な施設・機械等を貸し付け、畜産環境保の保全と、経営の健全な発展を支援した。

(17) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が、県内畜産農家に貸し付けた機械施設について、利用管理状況の調査及び経営指導を実施した。

ア 対象物件 バルククーラー 2 基

イ 対象戸数 2 戸

(18) 畜産酪農生産力強化緊急対策事業（中央酪農会議）

ア 性判別精液を利用し、乳用種後継牛の確保を図った農家に補助金を交付した。

（ア）取組頭数 438 頭

（イ）補助金額 1,926,500 円

イ 和牛受精卵を利用し、和子牛生産の拡大を図った農家に補助金を交付した。

（ア）取組頭数 62 頭

（イ）補助金額 1,456,500 円

(19) 埼玉県和牛肉等販売促進緊急対策事業（埼玉県学校給食用牛肉供給協議会・新規）

新型コロナウイルス感染症の拡大によるインバウンド需要や外食需要の減少により、和牛肉等の枝肉価格が下落し、肉用牛生産者等の経営に大きな影響を及ぼしていることから、県産和牛肉等を学校給食の食材として食育教材とともに提供し、新たな需要喚起を図ることで、本県肉牛生産者等への影響を緩和することを目的に実施した。

ア 埼玉県学校給食用牛肉供給協議会構成員（4 団体）

（ア）公益財団法人埼玉県学校給食会

（イ）埼玉県肉用牛経営者協会（会長）

（ウ）埼玉県食肉事業協同組合連合会（監事）

（エ）一般社団法人埼玉県畜産会（監事）

イ 食育教材配布数 899 校 409,850 部

ウ 牛肉提供数 927,573 人

エ 牛肉提供量 45,491.82 kg

オ 補助金額 407,925,050 円

（ア）食育教材費 6,277,775 円

（イ）牛肉提供費 392,565,367 円

（ウ）推進事務費 9,081,908 円（うち 4,500,000 円畜産会へ委託）

カ 事業実施期間 令和 2 年 7 月 6 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

(20) 家畜共進会の開催等

ア 第 56 回埼玉県乳牛共進会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した。

イ その他の共進会への支援については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施しなかった。

2 経営安定対策に関する事業

- (1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務受託（農畜産業振興機構）（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
肉用牛経営の安定を図るため、肉用牛の交付金業務を円滑に実施し、積立金管理者として制度の普及や支援を行った。

ア 交付金交付契約者件数（令和3年4月1日現在） 55件

イ 積立金管理状況

（令和3年3月31日現在（単位：頭、円）

種別	年度当初残高	負担金造成額	負担金交付額	年度末残高
肉専用種	43,461,341	119,404,833	133,812,174	29,054,000
交雑種	45,408,501	10,626,807	42,963,454	13,071,854
乳用種	34,504,858	11,584,173	22,193,635	23,895,396
合計	123,374,700	141,615,813	198,969,263	66,021,250

ウ 交付金交付実績

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）

（単位：頭、円）

区分	延交付人数	交付頭数	交付金交付総額	平均交付金単価
肉専用種	162	3,058	477,545,995	156,162
交雑種	164	1,252	155,475,964	124,182
乳用種	65	1,733	74,300,344	42,335
計	391	6,043	707,322,303	28,873

- (2) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（中央畜産会・新規）

肥育農家が優良な肥育牛生産等のために経営体質の強化に取り組み、肥育牛の販売頭数に応じて奨励金を交付した。

ア 事業参加数 70件（マルキン農家52件、マルキン未加入農家18件）

イ 奨励金交付頭数 6,182頭（マルキン加入牛6,072頭、マルキン未加入牛110頭）

ウ 奨励金交付金額 123,640,000円（マルキン加入牛121,440,000円、マルキン未加入牛2,200,000円）

- (3) 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

ア 個体登録頭数及び生産者積立金造成額

令和2年度（令和2年1月～令和2年12月）

（単位：頭、円）

品種区分	登録頭数	積立金単価	積立金額	負担内訳		
				機構	県	生産者
黒毛和種	17	1,200	20,400	10,200	5,100	5,100
	78	1,600	124,800	62,400	31,200	31,200
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
	0	6,000	0	0	0	0
その他肉専	0	12,400	0	0	0	0
	1	18,800	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種	53	6,400	339,200	169,600	84,800	84,800
	111	6,800	754,800	377,400	188,700	188,700
交雑種	179	2,400	429,600	214,800	107,400	107,400
	523	3,200	1,673,600	836,800	418,400	418,400
計	962	—	3,361,200	1,680,600	840,300	840,300

イ 補給金交付頭数及び補給金総額

令和2年度（令和2年1月～令和2年12月）

（単位：頭、円）

区 分	交付頭数	補給金単価	補給交付金額
黒毛和種	0	0	0
褐毛和種	0	0	0
その他肉専用種	0	0	0
乳用種	0	0	0
乳用交雑種	0	0	0
合 計	0	0	0

※令和2年度（令和2年1月～令和2年12月）においては、子牛価格が高値で推移したため、生産者補給金の発動には至らなかった。

(4) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（農畜産業振興機構）

補給金制度運営適正化事業及び指定協会調査指導事業を実施し、本制度における事務の適正かつ円滑な実施体制の確保が図れた。また、事務委託先及び生産者に対する事務の適正な実施指導に努めた。

(5) 指定協会運営体制支援事業（農畜産業振興機構）

農畜産業振興機構の補助を受けるなど、補給金制度を適正かつ円滑に推進するため、運営体制強化を図った。

(6) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（農畜産業振興機構・新規）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた肉用子牛生産者の生産基盤の安定を図るため、畜舎の環境改善や疾病防止に取り組む生産者に対し、緊急対策事業を実施したが、奨励金の交付には至らなかった。

(7) 肉豚経営安定交付金制度に係る業務委託事業（農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が保証基準価格を下回った場合に発動される事業の内容及び提出書類作成についての資料を配布し、事業の適正な実施に努めた。

(8) 鶏卵価格安定対策事業（埼玉県）

鶏卵生産者が鶏卵価格差補てん金の財源として積み立てる生産者積立金のうち卵価が補てん基準価格を下回った月に係る生産者積立金の一部に対し助成した。

ア 価格補てん発動月 9回（令和2年5月～12月、令和3年1月）

イ 対象農家戸数 13戸

ウ 生産者積立金の県費一部助成金 9,076,388円

(9) 鶏卵生産者経営安定対策事業（日本養鶏協会）

県内の事業参加生産者に対し、生産者積立金等の納付状況、報告書類の提出状況の管理に関する事務、鶏卵販売実績報告書の確認調査等の業務を受託し、事業の適正な実施に努めた。

(10) 東京電力原発事故に係る肉用牛経営損害賠償窓口事業（会単独事業）

東京電力福島原発事故に伴う放射性物質の流出により受けた肉用牛経営における損害賠償について、本会が県協議会の取り纏め窓口となり事業を実施した。

対 象 者	請求月	戸数	請求頭数	請求額	支払状況
肉用牛肥育経営	平成31年4月～令和2年3月	29戸	2,260頭	5,542,104円	請求中

3 家畜改良対策に関する事業

(1) 家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

家畜の改良増殖を促進するため、登録3団体の委託団体として登録業務を実施した。

家畜登録実績

(単位:件・%)

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	330	320	97.0	種豚登録	100	100	100.0	子牛登記	1,000	1,483	148.3
移動証明	30	6	20.0	繁殖産子産肉	40	0	0	基本登録	150	300	200.0
牛群審査	80	65	81.2	子豚登記	170	110	64.7	移 動	30	27	90.0
体型調査	60	70	116.7	子・種移動	40	9	22.5	遺伝子型他	320	374	116.9
検定証明	300	454	151.3	その他	20	143	715.0	その他	—	33	—
その他	0	18	—	黒豚証明他	130	81	62.3				
計	800	938	117.3	計	500	443	88.6	計	1,500	2,217	147.8

(2) 牛凍結精液配布事業

乳牛及び和牛の改良を促進するため、窓口団体として凍結精液等の販売を行った。

配布実績

(単位:本 %)

区 分		前年実績	本年実績	対前年比
(一社) 家畜改良事業団	乳 牛 (一般)	157	30	19.1
	乳牛 (性判別♀)	557	472	84.7
	和 牛	6,113	4,732	77.4
ジェネティクス北海道	乳 牛 (一般)	534	562	105.2
	乳牛 (性判別♀)	907	1,088	120.0
	和 牛	541	1,701	314.4
十勝家畜人工授精所	乳 牛 (一般)	277	155	56.0
	乳牛 (性判別♀)	39	100	256.4
	和 牛	294	280	95.2
輸入精液・その他	乳 牛	564	670	144.0
他県・その他授精所	和 牛	988	853	86.3
合 計		10,971	10,643	97.0

[参考] 年度別精液配布実績推移

(単位:本・%)

区 分	乳 牛		和 牛		合 計	
	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比
年 度						
23	5,338	89.6	5,795	86.3	11,133	87.8
24	5,153	96.5	5,855	101.0	11,008	98.9
25	4,758	92.3	7,088	121.1	11,846	107.6
26	3,704	77.8	5,729	80.8	9,433	79.6
27	4,465	120.5	5,926	103.4	10,391	110.2
28	3,780	84.7	7,228	122.0	11,008	105.9
29	3,781	100.0	7,553	104.5	11,334	103.0
30	3,369	89.1	7,883	104.4	11,252	99.3
1	3,035	90.0	7,936	100.7	10,971	97.5
2	3,077	101.4	7,566	95.3	10,643	97.0

4 家畜防疫体制確保に関する事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）

ヨーネ病、EBL（牛白血病）、BVD-MD（牛ウイルス性下痢）の発生、流行防止対策等を推進し、家畜の損耗防止を図った。また、生産者による飼養衛生管理の向上に努めた。

ア ヨーネ病対策

ヨーネ病まん延防止等のための自主とう汰等を推進した。

イ EBL 対策

EBL の検査等を推進した。

(ア) EBL 検査	検査頭数	1,134 頭
(イ) 吸血昆虫の忌避・駆除対策	対象農家	2 戸
(ウ) 高度感染牛の自主淘汰	淘汰頭数	4 頭

ウ BVD-MD 対策

BVD-MD の検査等を推進した。

(ア) BVD-MD 検査	検査頭数	158 頭
(イ) PI 牛の自主淘汰	淘汰頭数	3 頭

エ 農場飼養衛生管理強化対策

飼養衛生管理基準に基づき、獣医師等による衛生指導を実施した。

(ア) 指導農家 15 戸

(2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

BSE を早期に根絶し、生産者や消費者の安心と信頼を回復するために、死亡牛の円滑かつ適正な処理体制の確保と、その検査を推進した。

ア 協議会の開催 1 回

イ 死亡牛輸送・処理費の補助

(ア) 対象死亡牛頭数	通常死亡牛（96 ヶ月齢以上）	80 頭
	48～96 ヶ月齢未満の起立不能牛で BSE 検査を行った牛	68 頭
(イ) 補助金額	輸送費補助：518,000 円	
	処理費補助：45,000 円	合計 563,000 円

(3) 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構）

口蹄疫、豚熱等の海外悪性伝染病の発生に備えて、互助基金の加入促進を実施した。また、令和3年度からの次期対策期間における事前申込を行った。

令和2年度生産者積立金状況 (単位：頭、円)

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額
養豚	38	73,565	12,132,900
乳用牛・肉用牛	155	20,561	2,822,765

*（平成30年～令和2年の3年間の合計）

(4) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会）

馬飼養衛生管理体制の総合的な整備を図り、効果的な馬防疫を推進し、多様な飼養目的、飼養形態下にある馬衛生の向上に資するため、馬飼養衛生管理体制整備委員会・技術講習会の開催、地域馬獣医療実態調査を実施した。

ア 委員会の開催 1 回

イ 技術講習会の開催 1 回 演題：「日常遭遇する馬の疾病とその対処法」

ウ 地域馬獣医療実態調査数 98 件

(5) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会）

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を図ることにより、発生リスク等の低減、清浄化を図った。

ア 馬インフルエンザワクチン接種

- (ア) 接種頭数 266 頭
- (イ) 補助金額 492,100 円

(6) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会）

生産現場における家畜防疫体制の強化を図るため、伝染性疾病発生時の防疫対応を支援す
疫演習等を行った。また、輸入馬における馬伝染性貧血検査を推進した。

ア 防疫演習

- (ア) 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習 119 名参加 伊奈町 令和 2 年 10 月 29 日
- (イ) アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演習 48 名参加 熊谷市 令和 2 年 11 月 12 日
- イ 馬伝染性貧血検査 検査頭数 1 頭

(7) 予防接種事業(会単独事業)

家畜の損耗防止を図るため、次のとおり予防接種を実施した。

予防接種名	頭数	予防接種名	頭数
豚オーエスキー病	2,400 頭	牛伝染性鼻気管炎	397 頭
豚日本脳炎	244 頭	牛アカバネ病	305 頭
豚丹毒	9,912 頭	牛イバラキ病	153 頭

5 消費者信頼確保に関する事業

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会）

組織の活性化を推進するため、畜産団体の支援を図るとともに、浦和競馬場において支援
活動行い、地方競馬の発展を支援した。

- ア 仲間づくり 1 回
- イ 浦和競馬支援 4 回

(2) 畜産女性経営者育成強化事業（中央畜産会）

畜産経営の中核的な役割への女性参画の拡大及び女性の地位向上を目指し、女性自身の経
営者能力の向上等を図った。

- ア 畜産女性 WEB 研修会 2 回 令和 2 年 10 月 22 日 熊谷市 ホテルヘリテージ
令和 2 年 12 月 18 日 熊谷市 ホテルヘリテージ

(3) 畜産振興事業（県浦和競馬組合）

浦和競馬支援のため、競馬組合の HP で県畜産物のファンサービス活性化対策や広報誌に
よる宣伝活動を行った。

(4) 畜産物消費拡大事業（会独自事業）

彩の国畜産物の販売促進やブランド畜産物産地証明書を発行し、県内畜産物の消費拡大を
図った。

また、彩の国食と農林業ドリームフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の拡大
防止のため、中止となった。

(5) 馬事畜産振興推進事業（馬事畜産振興協議会）

埼玉県馬事畜産振興協議会を開催するとともに、令和 2 年 11 月浦和競馬において、冠レ
ースを開催した。

(6) 畜産振興諸活動（会独自事業）

関係機関の審議会、協議会等に本会の役員が委員、役員等として就任し本県畜産の振興に
寄与した。また、本会広報誌「畜産埼玉」を 2 回／年発行し、会員及び関係機関に配布した。